

# 小児心臓血管外科手術患者における小児集中治療室(PICU; pediatric intensive care unit)予定外再入室と院内急変対応チーム(RRT; rapid response team)の定期回診との関連性の検討、単施設、前後比較観察研究

## 1. 研究の対象

西暦2016年4月1日から西暦2022年3月31日までに大阪市立総合医療センターで心臓外科手術を受け、PICUを生存退室した16歳未満の方

## 2. 研究目的・方法

子供の集中治療室(PICU)とは、重い病気や手術、大けがにより、命にかかわるほど重症な子供を治療する場所です。治療が奏功し、状態が改善すると、PICUを出て一般病棟へ退室しますが、一般病棟へ移った後も、再び具合が悪くなって、PICUに出戻ってしまう子供も一定数存在しています。そのようにPICUに予定外で再入室となった子供は、重症で予後が悪いことが報告されています。なかでも心臓外科手術を受けられた子供は病気が複雑で重症であるため、さらに予後が悪いとされています。もし一般病棟ですごく具合が悪くなる前に対処できれば、PICUへの予定外再入室を防ぐことができ、子供の予後を改善させることができるかもしれません。しかし現時点で子供を対象とした具体的な取り組みの報告はありません。

成人では、そのような集中治療室への予定外緊急入室を防ぐ取り組みとして、院内急変対応チーム(RRT; Rapid response team)が集中治療室を退室した後に、定期的に診察を行って、効果を上げた(再入室を減らすことができた)と報告されています。RRTとは、病棟で急に調子が悪くなってしまった患者様をいち早く見つけ出して、心臓が止まってしまう、息ができなくなるなどの命に関わる緊急事態を事前に防ぐために組織されている医師と看護師から編成されるチームです。

当院では、2017年5月から小児を対象としたRRTの活動を開始しました。2018年4月から、上記成人の報告と同様に、PICUを退室して一般病棟へ転棟した全ての心臓外科手術後の子供を対象に、RRTの定期的な診察を開始しました。成人では、再入室を減らすことができたと報告されていますが、実際子供においても、同様に有効であるか、はっきりしていません。

そこで今回の研究では、PICU退室後の子供にRRTの定期的な診察を行うようにした前後の期間において、PICUへ予定外に再入室してしまった子供の数・割合をカウントして、本当に効果があるのか検証したいと考えています。もし、有効性が証明できれば、子供の領域において、初めての報告になります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：PICU 予定外再入室の有無、病歴(年齢、体重、基礎疾患等)、心臓外科手術の手術情報、PICU 滞在日数、人工呼吸期間、PICU 退室時のバイタルサイン、時間、治療等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

集中治療部 芳賀 大樹(研究責任者)

住所 〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号

電話 06-6929-1221